

# 平成23年度事業報告書

自 平成23年4月 1日

至 平成23年5月31日

財団法人 日本産業デザイン振興会

## はじめに

本事業報告書は、公益財団法人日本デザイン振興会の前身に当たる財団法人日本産業デザイン振興会の平成23年4月1日から同年5月31日までの2ヶ月間の事業活動について報告するものである。

### 1. グッドデザイン賞事業

本事業においては、審査及び表彰事業、グッドデザインエキスポ事業等を行う予定であり、各々の実施計画を検討した。審査及び表彰事業については、事業運営に必要な要綱等を定めて公開し、5月18日から応募受付を開始した。また、近年応募数が増加している台湾を含め全国で合計15回応募説明会を開催し、多くの方に応募を呼びかけた。

### 2. 広報事業

本事業においては、グッドデザイン賞のパブリックリレーション事業、東京ミッドタウン・デザインハブの運営事業、国際会議や海外見本市への参加を含めた国際交流事業、また国内のデザイン振興機関等との連携事業を行う予定である。グッドデザイン賞のPR事業については、応募受付の時期でありプレスリリースの発信、多くのメディアとの折衝など様々な訴求活動を展開した。東京ミッドタウン・デザインハブの運営事業においては、4月22日から6月5日までの間、3人のデザイナーをキュレーターに招き「日本のデザイン2011～Re:SCOVER NIPPON DESIGN デザイナーが旅する日本」をデザインハブ構成機関と共に開催した。国際交流事業については、10月下旬に台湾で開催予定の大規模な国際会議「IDA (International Design Alliance) CONGRESS」及び同時開催されるデザイン展覧会に参加するにあたり、インダストリアル、グラフィック、インテリアの3つデザイン協会と連携し推進することになり、開催に向けた定期的な連絡会を設置した。

### 3. 復興支援デザインセンター事業

ジャパン・デザイン・フォーラム事業で掲げた情報提供事業、人材育成事業は、東日本大震災で被害を受けた地域を対象に集中的に行うことが重要であることから、被災地域のデザイン関係者への情報発信機会の提供、被災地域のデザイナーや企業に対するデザイナーによる支援活動等を行うことに特化することとした。4月15日にはウェブサイトにも復興支援特設ページを開設するとともに、復興支援をより効果的な内容としていくため、経済産業省、デザイン団体、デザイン専門機関などと連携し、デザイン分野の視点や経験、方法論を活かした震災復興支援活動を推進するプラットフォーム「Design for Japan」を5月2日に発足させ当会が事務局を担当した。

また、当会独自の復興支援方策として、グッドデザイン賞事業においては、被災を受けた東北6県及び茨城県に本社を置く応募者に対する優遇措置を講ずることを決定した。

なお、事業内容を被災地域の情報提供事業、人材育成事業に特化したことに伴い、事業

の名称についても復興支援デザインセンターに修正した。

#### **4. その他事業**

本年度、東京都と板橋区から委託事業を既に受託している。東京都からは、「東京都デザイン導入支援事業（東京デザインマーケット）」、「実践デザイナー育成事業（デザインツールズ）」の二つの委託事業を受託しており、委託方針に沿って実施計画を進めた。板橋区から委託された「産業デザイン講座（いたばし経営デザインフォーラム）」事業については、5月14日にセミナーを実施し、事業内容の一部を実施に移している。